

佐呂間町平成 24 年度決算報告

国「15カ月予算」で経済再生を図る

町では、皆さんが納めた貴重な税金がどのように使われているのかを知っていただくため、予算・決算などを基に財政状況を公表しています。

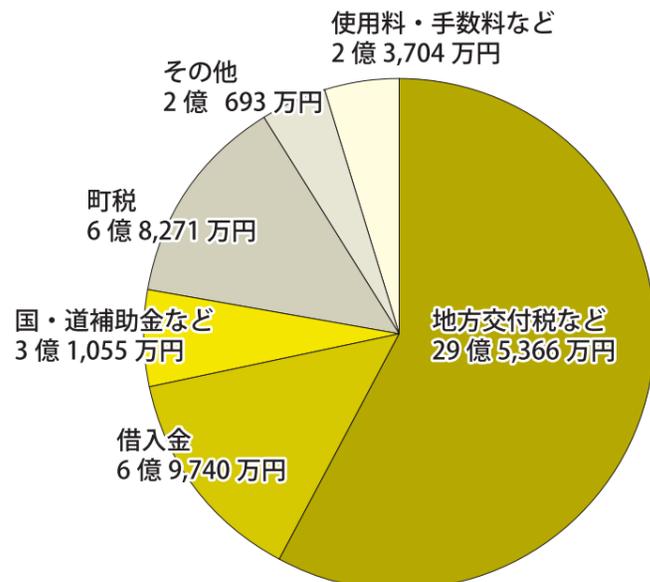
今回は、昨年9月に議会で認定された平成24年度決算の概要についてお知らせします。

“高いコスト意識”・“限られた財源・限られた人員”で効率的かつ健全な運営を

国の平成24年度予算の基本方針は、新成長戦略への取り組みの断行と、「日本再生元年」へのチャレンジとして、東日本大震災からの復興、経済分野のフロンティアの開拓、分厚い中間層の復活、農林漁業の再生、エネルギー・環境政策の再設計の5つの重点分野を中心に取り組むとともに、地域主権改革の確実な推進を理念にスタートしたところですが、一昨年12月の衆議院議員解散総選挙により自民党政権が復活、年明けには補正予算（第1号）により事前防災・減災関連経費や地域活性化関連経費などを追加計

このような中、本町における平成24年度予算編成においては、前年度同様、第4期町総合計画の基本構想を年頭におき、将来への展望を見据えた計画的な予算となるよう全職員が高いコスト意識を持ち、限られた財源・限られた人員の中で効率的かつ健全な行政運営を推進する一方、本町の実情を踏まえた独自の施策を積極的に展開できる予算編成を行いました。

一般会計 歳入は 50 億 8,829 万円



依存財源 77.86% 前年度比—1.43%

- 自主財源 11 億 2,668 万円 22.14% (町税・使用料手数料など・その他)
- 依存財源 39 億 6,161 万円 77.86% (地方交付税など・借入金・国・道補助金など)

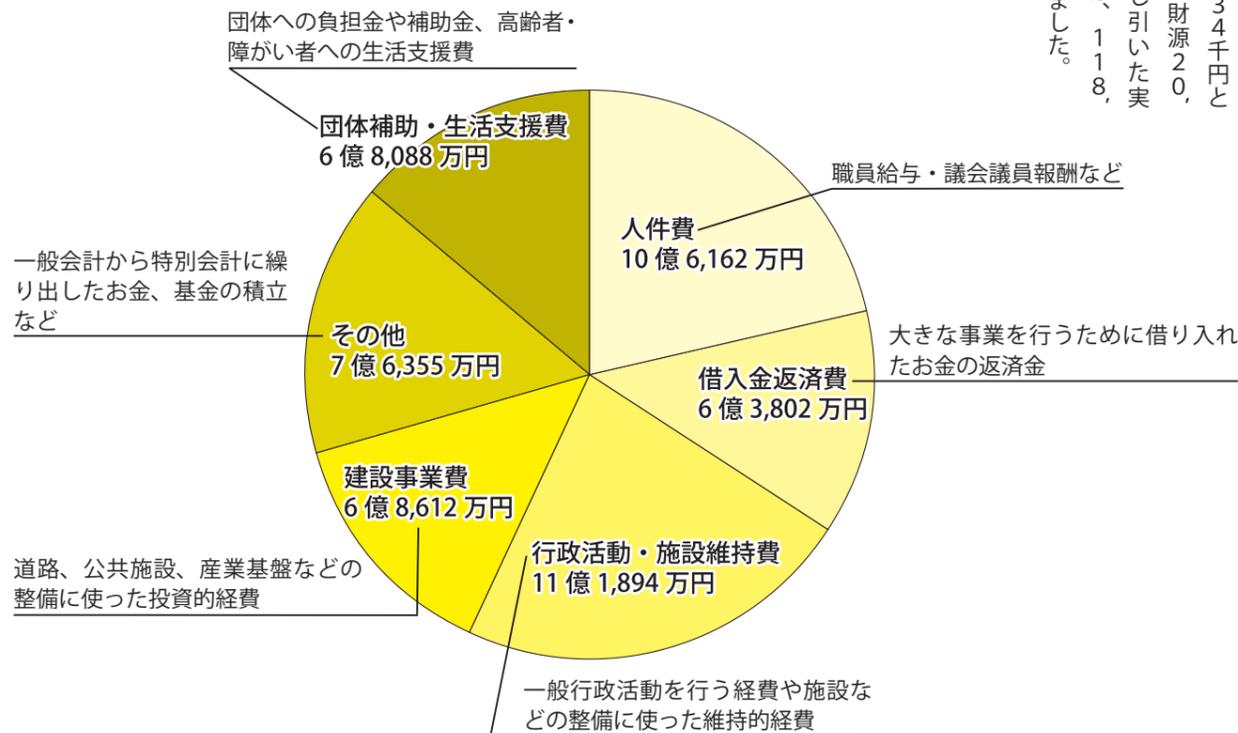
歳入の約54%を占める地方交付税については、普通交付税において地方団体の財源不足額の合算額が普通交付税の総額を超えることとなり、交付額に不足が生じたため、調整率を乗じた2,480,439千円が交付決定されたところですが、前述のとおり調整減額分(5,703千円)が全額復活となり、2,486,142千円(対前年度比90.957千円増)が交付されました。特別交付税においては、12月交付分が佐呂間厚生病院の無床化の影響により、対前年度比11.5、203千円減額となり、交付総額は、2,765,661千円となりました。

総額の大幅な減額が懸念されましたが、3月交付分にて対前年度比100,941千円が増額となったため、総額で279,519千円(対前年度比17,910千円減)が交付され、平成24年度の地方交付税総額は、2,765,661千円となりました。

歳出については、補助金や町債などによる財源確保に努めながら、土地改良や漁港整備などの第一次産業基盤整備をはじめ、簡易水道拡張や町道改良舗装などのインフラ整備、町民センターや若佐コミュニティセンターなどの集会施設整備、町体育館の耐震改修や消防救急デジタル無線整備などを実施するとともに、4年目となったプレミアム付全町共通商品券発行助成事業や住宅建設促進事業など、町民還元型のソフト事業にも積極的に取り組みました。

算額4,949,134千円となり、翌年度繰越財源20,625千円を差し引いた実質収支差引残額は、118,531千円となりました。

一般会計 歳出は 49 億 4,913 万円



特別会計は、各会計黒字で健全性を確保

◆簡易水道	歳入 2 億 3,010 万円	歳出 2 億 1,364 万円
◆国民健康保険	歳入 8 億 7,938 万円	歳出 8 億 3,949 万円
◆公共下水道	歳入 2 億	歳出 1 億 9,722 万円
◆介護保険	歳入 5 億 2,769 万円	歳出 5 億 1,034 万円
◆介護サービス	歳入 3 億	歳出 2 億 9,225 万円
◆後期高齢者医療	歳入 8,256 万円	歳出 7,967 万円

起債は5,486万円減少
83億3,509万円

◆基金	46 億 8,154 万円	前年比 2 億 3,135 万円
◆起債	83 億 3,509 万円	前年比 ▲5,486 万円

この結果、平成24年度についても財源補てん的な基金繰入金をすべて減額し、財政調整基金145,000千円、各公共施設整備事業基金100,000千円を積み立てるとともに、北海道市町村備荒資金組合超過納付金へ100,000千円を積み立て、最終予算額を5,100,304千円(対前年度比725,132千円減)としました。決算額については、歳入決算額5,088,290千円、歳出決